

# 脊髄損傷の分類

## ●ASIAの機能障害尺度

A=完全: S4-5仙髄節の運動・感覚機能の欠如
B=不全: 運動機能の欠如。感覚は神経学的レベルからS4-5仙髄節にかけ残存
C=不全: 運動機能は神経学的レベル以下で残存(標的筋群の大多数は3以下)
D=不全: 運動機能は神経学的レベル以下で残存(標的筋群の大多数は3かそれ以上)
E=正常: 運動・感覚機能障害は完全に回復(反射の異常はあっても可)

## ●zancollilによる頸髄損傷麻痺手の分類

群	可能な動作	最下位機能髄節	残存運動機能	亜群
I	肘屈曲	C5	上腕二頭筋 上腕筋	A: 腕橈骨筋(-) B: 腕橈骨筋(+)
II	手関節伸展	C6	長・短橈側手根伸筋	A: 手関節伸展可能 B: 強い手関節伸展可能 1. 円回内筋、橈側手根屈筋、上腕三頭筋(-) 2. 円回内筋(+), 橈側手根屈筋、上腕三頭筋(-) 3. 3筋(+)
III	指の外来伸筋	C7	総指伸筋 小指伸筋 尺側手根伸筋	A: 尺側指の完全伸展と橈側骨と母指の麻痺 B: 全指の完全伸展と弱い母指伸展
IV	指の外来筋による屈曲と母指伸筋	C8	深指屈筋 固有示指伸筋 長母指伸筋 尺側手指屈筋	A: 尺側指の完全屈曲と橈側指と母指の屈曲不全母指伸展可能 B: 全手指の完全屈曲、内在筋麻痺 1. 浅指屈筋(-) 2. 浅指屈筋(+)